追加補足説明書　AR8600 *MARK2*

このたびは、 AR8600MARK2 をお買い求めいただき、 まことにありがとうございます。
AR8600MARK2 は、 100kHz 〜 3000MHz の非常に広い周波数範囲をカバーする受信機です。 長年弊社が培った広帯域技術とノウハウを凝縮。 新時代の主力デスクトップ型広帯域受信機として開発しました。

この説明書は、 従来の AR8600 から変更になった部分の追加補足を記したものです。 ほとんどの操作は変更されていません。 お読みになられた後も、 同梱の 「AR8600 取扱説明書」 と一緒に大切に保管して、 操作がわからなくなったときなどに活用してください。

追加機能

AR8600MARK2 には、 従来の AR8600 と比較して下表のように機能が、 追加変更されています。

項　目	AR8600 （従来型）	AR8600 MARK2	取説関連ページ
受信周波数範囲	530kHz 〜 2040MHz	100kHz 〜 3000MHz	
減光機能 （DIMMER）	なし	新規追加	P. 82 – P.83
スケルチ連動照明	なし	新規追加	P.83
ACC 端子 オーディオ出力	ミュートなし	スケルチ連動 ミュート回路付	P.104
ACC 端子 スケルチ連動接点	オン抵抗 0.5Ω	廃止	P.104

①　減光機能 （取説 P.82 - P.83）

ディマーとも呼ばれる機能でLCDとキーのバックライトの照度を下げる機能です。 取扱説明書に従って、基本設定メニューを起動します。 ▼キーを3回押してカーソルを、 DIMMER 行に移動させます。 ダイヤルまたは左右方向キーで、 ON /OFF を切り換えることができます。 設定を確定するには 、他の設定と同様に、 ENT キーで登録します。

(FUNC) + (7 CG) キーを押します （CONF)

減光機能設定中の表示例

```
 BEEP      06
LAMP     AUTO
CONTRAST    12
DIMMER  ■  OFF
```

②　スケルチ連動照明 （取説 p.83）

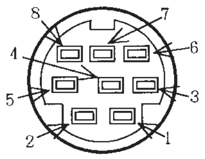
LCD とキーの照明設定で、 AUTO を選択したときの点灯パターンが次のようになります。

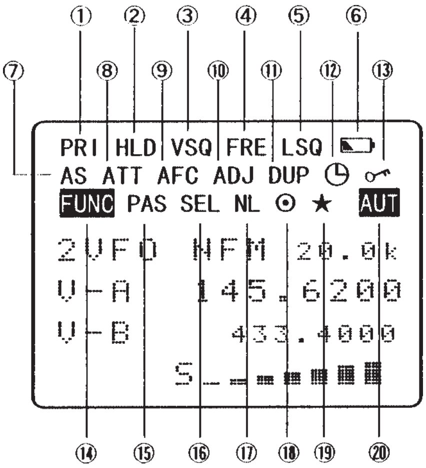
AUTO　→ キーまたはダイヤル操作後、 スケルチが開いた後、 約5秒間自動点灯します。

③　ACC 端子オーディオ出力（取説 p.104）

AR8600MARK2 の ACC 端子は、右図のように配置されています。6番と7番に出力されているオーディオ出力は、 スケルチ回路と連動してミュートしていますので、 VOR 機能の付いているテープレコーダなどに活用できます。 オプションの CR5000 を利用すると便利です。 スケルチ連動接点 （4番と5番） は廃止しました。

1. 電源端子 5V
（最大 30mA）
2. 検波出力
（ 50mV @100k Ω ）
3. 未使用
4. 未使用
5. 未使用
6. オーディオ出力　(300mV @ 600 Ω)
7. オーディオ出力　(30mV @ 600 Ω)
8. グラウンド





LCD 表示の概要（番号は取説関連ページ）

従来の AR8600 から変更はありません

① プライオリティ表示 （P.52）
② ピークホールド （P.73）
③ ボイススケルチ （P.41、 P.50）
④ フリー （P.41、 P.50）
⑤ レベルスケルチ （P.40、 P.49）
⑥ 電池電圧警告 （P.15）
⑦ オートストア （P.51）
⑧ アッテネータ （P.70）
⑨ 自動周波数同調 （P.71）
⑩ ステップアジャスト （P.78）
⑪ デュープレクス表示 （P.76）
⑫ スリープタイマー （P.80）
⑬ キーロック （P.13）
⑭ ファンクション表示 （P.13）
⑮ パス表示 （P.35、 P.65）
⑯ セレクトスキャン （P.34）
⑰ ノイズリミッタ （P.71）
⑱ リモート制御表示 （P.106）
⑲ クイックメモリ （P.90）
⑳ オートモード （P.18、 P.29）

レベルスケルチ（LSQ）の設定値　（取説　P.40、P.49）

AR8600MARK2は 、新設計の回路を採用したため、レベルスケルチの設定目安が変わっています。レベルスケルチを使うときは右表を参考に設定してください。

AR8600MARK2 S メータと LSQ の設定目安

Sメータの値	レベルスケルチの値
1	4
2	7
3	12
4	16
5	19
6	23
7	28
8	30
9	35
10	39
11	43
12	47
13	51
14	54

サーチバンク初期設定

サーチバンクには右のようなデータがプログラムされています。またデータ内容は予告なく変更することがあります。なお、データ内容については弊社では責任を負いませんので予めご了承下さい。

バンク	下限周波数	上限周波数	モード	バンクテキスト
A	0.54	1.602	AUTO	AM ﾎｳｿｳ
B	76.00	107.75	AUTO	FM ﾎｳｿｳ TV1-3
C	118.50	135.90	AUTO	ｴｱｰﾊﾞﾝﾄﾞ VHF
D	225.00	400.00	AUTO	ｴｱｰﾊﾞﾝﾄﾞ UHF
E	144.02	146.00	AUTO	144MHz ham
F	146.02	150.50	AUTO	ｷﾞｮｳﾑFIRE ﾎｶ
G	154.45	154.61	AUTO	VHF ｶﾝｲ ﾑｾﾝ
H	468.55	468.85	AM	UHF ｶﾝｲ ﾑｾﾝ
I	175.75	221.75	AUTO	TV 4-12 ch
J	430.00	440.00	AUTO	430MHz ham
a	380.2125	381.3125	AUTO	ｺｰﾄﾞﾚｽ ｵﾔｷ
b	253.8625	254.9625	AUTO	ｺｰﾄﾞﾚｽ ｺｷ
c	466.20	467.375	AUTO	ﾎﾞｳｻｲ ﾑｾﾝ
d	412.025	412.325	AUTO	ｼﾝｶﾝｾﾝﾃﾞﾝﾜ1
e	414.175	414.325	AUTO	ｼﾝｶﾝｾﾝﾃﾞﾝﾜ2
f	450.0125	451.50	AUTO	ﾀｸｼｰ ﾑｾﾝ
g	340.85	399.375	AUTO	ｺｳｿｸ JR ﾎｶ
h	797.125	809.75	AUTO	ﾜｲﾔﾚｽ ﾏｲｸ
i	850.0125	859.9875	AUTO	MCA
j	903.0375	904.9875	AUTO	ﾊﾟｰｿﾅﾙ ﾑｾﾝ